理事長コラム【お盆のはなし】

理事長 田中 誠

旧盆は７月、普通は８月に先祖を供養するお盆というものがあります。
盆は正式には盂蘭盆会（うらぼんえ）という仏教の行事ですが、元々は仏教が我が国に伝わるずっと昔からあったものです。

昔、人々は死んだ先祖は、山へ行くと考えられ、盆の期間だけは里へ下りてくると信じていました。この世とあの世はつながっているのですが、全てが逆だったようです。
この世が朝になるときは、あの世では夜が来るのです。お通夜は夜行いますが、これは死んだ人があの世へ旅立つ朝なのです。お棺に納められた死者の着物が左右逆なのも同じ理由です。

人は死ねば肉体を失いますが、残された人々の心の中には思い出やその人の思いが残るものです。悪いことをして死ぬと、子々孫々まで損をします。悪いことは出来ません。

地域の高齢者介護で困った時には

南知多町では、地域包括支援センターを中心に毎月「地域ケア会議」を行い、高齢者支援の充実と社会基盤整備を検討しています。

今回「地域の高齢者介護で、困った時にはどうしたらいいんだろう？」という方に向けてのポスターを作成しました。
何か困りごとがありましたら、南知多町地域包括支援センター、又はケアマネまでご連絡ください。

お食事とご利用について【そよかぜデイサービスセンター・ショートステイ】

そよかぜデイサービス、ショートステイで提供しているお食事です。１日の食事を1,500カロリーほどで計算し、ご利用者の健康に良いお食事となっております。

また、季節の材料を取り入れたり、歯が悪いお年寄りにも食べやすいように工夫されております。

現在、そよかぜの利用定員に空きがありますので、利用希望の方はご連絡をお願い致します。また、ショートステイ９月の利用状況にも空きがあります。ご要望の方はご連絡をお願い致します。

◉ご利用等については、担当のケアマネージャー様もしくは直接施設へ問い合わせ下さい。
◉あい寿の丘ホームページからメールでのお問い合わせも受付けております。

社会福祉法人 南知多 〒470-3411 愛知県知多郡南知多町大字豊丘字中平井14番１
TEL 0569-65-2965 / FAX 0569-65-2967 http://www.aijyu.or.jp

あい寿の丘 ほっかほか
ふれあいホットニュース

2017年8月 盛夏号

あい寿の丘・ひだまり・そよかぜのご利用者で、豊浜の奇祭「鯛祭り」の鯛を見に行ってきました。

実際に間近で見ると、やっぱり「大きいね！」「立派だね！」と大きさに圧倒されていました。

たまたま鯛のところにいたプロのカメラマンに「麦わら帽子姿が鯛とマッチしているので、記念に写真を撮らせて欲しい」と言われて撮ってもらいました。
でも麦わら帽子がいいと言う事で全員後ろ姿だったそうです。

鯛を見学した後はケーキ屋さんに寄って、好きなケーキをショーケースから選んで頂きました。とても美味しくて、皆さん笑顔で「美味しいね」と言っていました。

大井のお祭りを見学してきました

暑い中、麦わら帽子をかぶってさあ出発！

大井出身のご利用者が、夏祭りの風景を久しぶりに見て懐かしんでおられました。

昔話にも花が咲き、山車を眺めたり、太鼓の音を聞いたりと、大井地域のお祭りを存分に堪能しましたよ。

ひだまりのフルーツバイキング

フルーツの摂取は肥満の予防や、糖尿病やがん等の生活習慣病の予防、便秘、骨粗しょう症の予防等に効果があるといわれます。

ご利用の皆さまからは、健康意識へのこだわりや「フルーツは、ごはん以外に別腹で食べるよ」という声も聞かれます。

今回も、お好きなフルーツを選んでおいしく召し上がられました。

ケアハウスの暑気払い

ケアハウスで「暑気払いしよう！」と野間の喫茶店へパフェを食べにでかけました。

「洒落とるね」「甘くておいしいわ」とご満足の様子。

外に出るとセントレアに着陸する飛行機が真上を飛んでおり「こんな間近で見えてすごいな」「音がすごい」と喜んでみえました。

南知多デイサービスの「初恋パフェ」

ご利用者さんに初恋の味は？と聞くと「初恋なんか無かった」や「甘かった、レモンの味でしたよ」と様々でした。

皆さんの初恋の味はいかがでしたか？

中身はシスコーン・ゼリー・バナナ・みかん缶等々で「こんなに沢山食べられるかな～？」と言いつつ、あっと言う間に完食。

「このパフェなら、毎回食べてもいいな～」と言う声ばかりでした。

豊浜鯛祭りの花火を満喫しました

豊浜鯛祭りの夜、ひだまり２階のウッドデッキから花火を楽しむ事ができました。

ご利用者が思わず「たまやー！！」「花火万歳！！」と嬉しそうに花火に向かって叫んでおりました。

今年も花火を見ながら、涼しい風にあおられて、真夏の暑さを吹き飛ばすことができました。

そよかぜの壁面作り

今年も夏の風物詩「花火」の壁面を豊浜鯛祭りの開催に合わせて仕上げました。

「もう何十年も花火なんか見たことないよ」といわれる方が多く、今の花火の色や形をお話しをすると驚かれていました。

花火はこんな感じかな？と想像しながら楽しい雰囲気で作りました。さて、本物の花火と比べ、出来栄えはいかがですか？

立派な竹の水墨画です

絵を描くのが得意で、皆さんの似顔絵を鉛筆で描いて頂いておりました。上手ですねと伺うと「本当は水墨画が得意」との事です。

早速「竹」を書いてとお願をすると、すらすらと立派な竹が水墨画で描かれました。

それを見ていた皆さんが「これもまたすごい！上手！」と多数のご利用者が集まりましたが、ご本人は少し照れている様子でした。

ボランティア体験学習でカレー作り

夏休みを利用し、南知多町内の中学生がボランティア体験学習に来て下さっています。

２日間の体験では、掃除・作業・ご利用者とのお話・ゲーム等を行いました。

ケアハウスでは、一緒にカレーとサラダを調理。最初は緊張気味でしたが、次第に笑顔も見られ、お喋りしながらのお手伝いです。

「おいしいね」「たくさんあったけど食べちゃった」と皆さん満腹のご様子でした。